

17	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	16106007	知的情報処理技術を適用した構造物の戦略的 ストックマネジメント	宮本 文穂 (山口大学・工学部・ 教授)	A
<p>(意見等)</p> <p>社会基盤構造物の維持管理を合理的、戦略的に行う枠組みを、世界的な標準化を目指して、構築するという研究目的を達成するために、国際会議の開催や外国人研究者の招聘などを通して、各国が有するデータベースの互換性を高め、国を超えて通用するデータ構造の作成や構築したシステム仕様を英語と中国語に翻訳して Web 上で公開するなど、研究は概ね順調に進展している。また、研究成果の発表も十分である。</p> <p>一方、これまでの研究は、橋梁と下水管を対象としたものであり、用途・規模・材料等が異なる他の社会基盤構造物の維持管理システムに対する普及性・波及性をどのように考えるのか、また、この研究のアウトプットとなる統合システムをどのように持続的に発展させていくかについて、具体的方策や戦略を明確に示すことが要請される。</p>				
18	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	16106008	気相急冷による硬質磁性合金ナノ粒子の形成 と電子線構造解析ならびに磁性評価	弘津 禎彦 (大阪大学・産業科学 研究所・教授)	A
<p>(意見等)</p> <p>本研究はナノ磁性粒子の作製と電顕による規則構造の観測を通して実用に重要である粒子の磁性との関連を調べたものである。既に実用レベルで重要性が指摘されているL1₀構造をもつFePtとFePdを主な対象物質として実験を行い、概ね順調に成果を上げている。ただし、研究自体は本研究課題の開始以前から行われており、本補助金の配分により何が本当に明らかになったか、どこに新規性があるかを明示すべきである。合金粒子内の規則度が5 nm以下の粒径で低下するのが作製法に依存するのか、あるいは粒径のみに依存する普遍性の高いものか、臨界核サイズである2 nm程度の粒子のオーダはいかなるものか、等、磁気記録媒体への利用時の限界について普遍的な情報を提供していただきたい。今後の研究の進展に期待する。</p>				